

講座を開くにあたって

はじめまして。担当の鈴木隆子です。私は、日本語教育能力検定試験に合格した有資格者の日本語教師&手話通訳士です。欧米のビジネスパーソンを対象に、約5年間日本語を教えてきました。その後、手話の世界に入り、手話関係の団体で働きました。そこにはろう者の上司と同僚がいました。彼らと手話で話すと、とても優秀であることがわかるの

ですが、なぜか彼らの書いた日本語の文章には間違いがたくさんあって驚きました。「いったいなぜなのだろう？」と不思議に思いました。



担当講師:鈴木隆子・すぎたかこやがて彼らの間違いが、私が以前教えていた外国人の日本語学習者の間違いと似ていることに気づきました。

「外国人にとっても、ろう者にとっても日本語は母語ではなく第二言語なのだから、間違えるのは当たり前だ！」ろう者の母語は手話。音声の日本語ではありません。でも一般の聴者は、そのことを理解していません。ろう者の書く日本語の文章に間違いが多いために、彼らの能力を過小評価し、彼らを見下すような態度を見て、私は悔しくてたまらなくなりました。

そして「ろう者にとって母語は手話。日本語は第二言語なのだから、聴者に対する国語教育は合わない！外国人のための日本語教育の手法を取り入れて、手話で日本語の文法を説明すれば必ず理解できるはず！」そう考え「ろう者のための手話で行う日本語の文章力向上講座」を開きたいという夢を持つようになりました。それが2006年のことです。

2009年から活動開始!

そして2009年4月、3年越しの夢が叶い「手話で行う日本語文章力向上講座」を開くことができました♪

私自身と同じく、この講座もまだまだ発展途上です。皆さまのご意見やご要望を取り入れてもっともって育てていきたいと思えます。

聞こえない方が自分の日本語の文章に自信を持ち、社会の中で自分の力を十分に発揮できるようになることが私の夢です。一緒に学んでみませんか？

日本語教師・手話通訳士
鈴木隆子



授業の様子

充実のカリキュラム

日本語文法の重要項目25講座・ビジネス関連4講座を軸に、充実したカリキュラムが整いました。語彙と文法は車の両輪と同じです。どちらが欠けても言語の習得は不可能です。

日本文法の重要項目25講座を理解しなければ、いつまでたっても正しい日本語を習得することはできません！（裏面カリキュラム参照）

◆様々なプログラム

毎週1回木曜日の夜の講座からスタートしましたが、現在では、より皆様が受講しやすいように、様々なプログラムをご用意しています。

- 1) 毎週木曜日 夜7時~9時 (第1木曜日除く)
「手話で行う日本語の文章力向上講座」
 - 2) 毎週通えない方のために、集中して学ぶ
「1日講座・ビジネス/助詞編」
 - 3) 遠くて通えない方のための
DVDで学ぶ「通信講座」(6カ月)
 - 4) 仲間とともに学びたい方、企業やろう協へ
「出張講座: 2時間/4時間/6時間」
 - 5) 毎週木曜日の講座の受講生&通信講座の
修了生を対象にした「添削講座」(全10回)
- *番外編:手話で行う「基礎英語」(毎月第1木曜日)

ろう者が"日本語"を 第二言語として 学べる講座

机の並べ方、ノートの取り方等、聞こえない特性を配慮しながら、100%理解の講座を目指します。

基礎文法25カリキュラム

各2時間

1	主題と主語の違い～助詞「は」と「が」
2	格助詞①「を・に・へ」
3	格助詞②「で・と・より・から・まで」
4	並列助詞と助詞の「の」
5	自動詞・他動詞「生まれる・生む」
6	使役（～させる）
7	受身（～られる）
8	使役受身（～させられる）
9	テ形の基本（食べている・落ちている）
10	テ形の応用（買ってある・～てしまう）
11	複文
12	条件節（「たら」「なら」「ば」「と」）
13	終助詞「だよ」「ね」
14	判断の表現「そうだ」「ようだ」等
15	引用・伝聞「～そうだ」
16	物の数え方
17	あいまいな日本語表現
18	インフォーマルな日本語
19	命令・依頼・勧誘
20	義務・勧め・許可・禁止
21	授受表現①（「あげる」「もらう」「くれる」）
22	授受表現②（「あげる」「もらう」「くれる」）
23	敬語①（尊敬語）
24	敬語②（謙讓語・丁寧語）
25	動詞・形容詞の活用

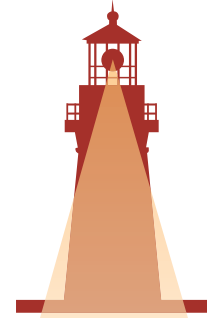
【受講者の声】

●今まで全くわからなかったことが手話の説明でわかるようになりました。「は」と「が」の使い分けなどのルールを学び、今までメールや文章を書くとき、間違っていたと気がつきました。

●以前会社で社内の勉強会を受けた事がありました。内容は、一部違いますが、テキストを何度も熟読しても、自分で納得できませんでした。私は、文章力が弱いから、文章の意味を把握できなかったのだと思います。

●今回、特に印象に残ったことは、「に」と「には」や「で」と「では」の違いです。今までは何度文章を読んでも理解ができませんでした。今回この講座を受講させていただき、すごくわかりやすくて、使い分けなどのルールを知って納得できました。

●助詞の使い分けなどがわからず、いくつかの複雑な文章を間違っ使ってきました。社会に出てから、様々なトラブルに遭いました。上手に助詞を表せなくて、悔しいと思って受講しました。



鈴木 隆子

〒108-0075
東京都港区港南2-12-27-3F
株式会社UDジャパン

FAX 03-5460-0240
TEL 03-5769-0212

Eメール: info@udj7.com

<http://www.ud-japan.com/sem/jbl001.html>

手話で行う 日本語文章力 向上講座



私がやります。雨が降りそうです。
私はやります。雨が降るそうです。
おまかせください。
まかせてください。

